# 「汚泥や油性廃棄物の再資源化について」

株式会社東亜オイル興業所 営業部 産廃係 鶴岡 雅敏

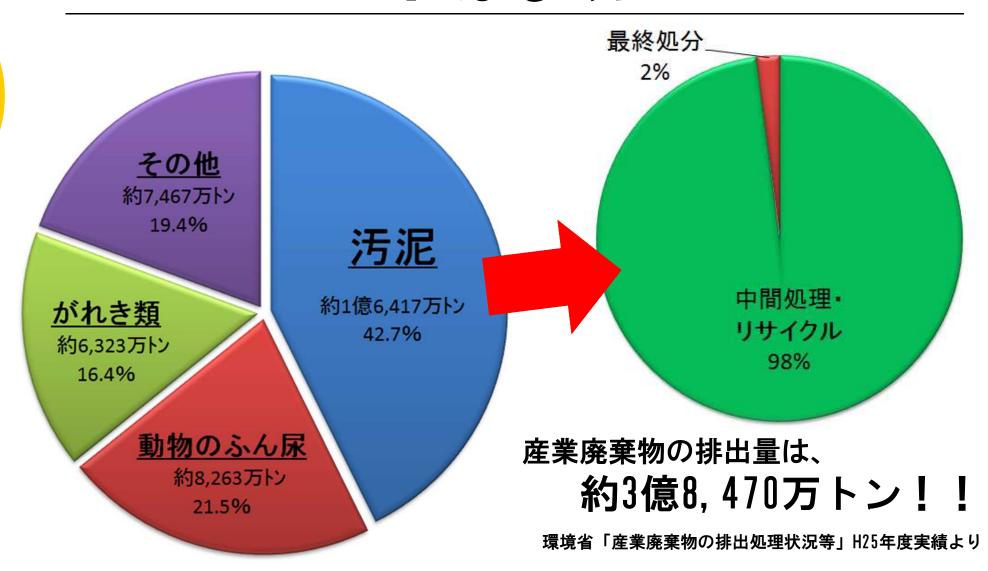


## 汚泥や油性廃棄物の再資源化について

- 1. はじめに
- 2. 汚泥は色々!
- 3. 無機汚泥リサイクル!!
- 4. 有機汚泥リサイクル!!
- 5. 汚泥の処理とコストの関係性
- 6. 廃油も色々!
- 7. 廃油の種類!
- 8. 廃油リサイクル!!
- 9. 東亜オイル流 リサイクル!!!
- 10. まとめ



#### 1. はじめに





#### 2. 汚泥は色々!

#### く無機汚泥>

- ① 建設汚泥
- ② 活性炭、排水処理汚泥
- ③ 側溝汚泥、工場排水
- ④ 金属含有汚泥、塗装ブース汚泥
- ⑤ 廃白土、含油汚泥、廃触媒 etc...



#### 2. 汚泥は色々!

#### く有機汚泥>

- ① 活性汚泥法による処理後の汚泥
- ② 食品排水汚泥
- ③ ビルピット汚泥
- 4 下水道汚泥
- ⑤ 製紙スラッジ

etc...



## 3. 無機汚泥リサイクル!!

#### 処分方法

#### 固化

廃水処理汚泥・活性炭など

#### 脱水

側溝汚泥・工場排水など

## 溶融

金属含有汚泥・ブース汚泥など

#### 焼却

含油汚泥・廃白土など

### リサイクル用途

改良材

路盤材

スラグ

セメント原料





## 4. 有機汚泥リサイクル!!

#### 処分方法

#### 堆 肥

食品工場汚泥など

## 発 酵

ビルピット汚泥など

#### 脱水

下水道汚泥・活性汚泥など

### 焼却

製紙スラッジなど

### リサイクル用途

肥料

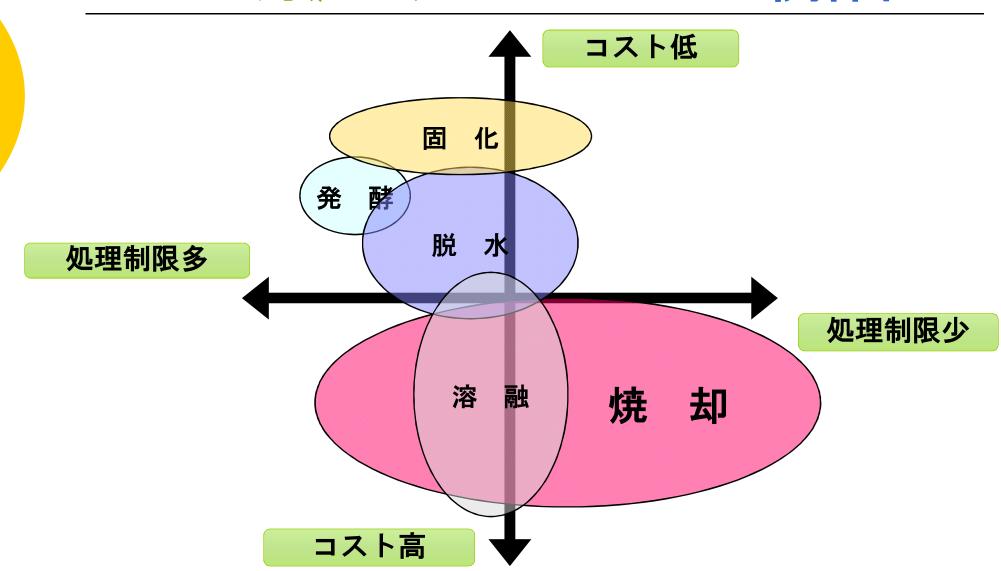
発電

路盤材

セメント原料



## 5. 汚泥の処理とコストの関係性





## 6. 廃油も色々!!

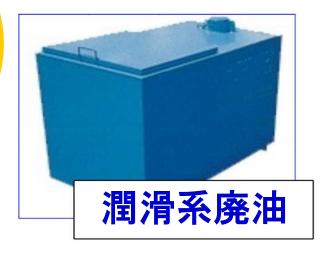
- ①潤滑系廃油、絶縁油、廃食油
- 2含油水、切削油
- ③塗料、グリス
- 4廃樹脂、廃シリコン
- 5廃油スラッジ
- ⑥含油汚泥

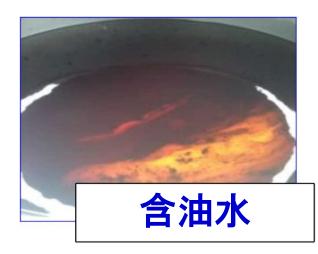
etc...





## 7. 廃油の種類!















## 8. 廃油リサイクル!!

処分方法

リサイクル用途

油水分離

再生重油

焼却

発電

混合

燃料化



処分方法

リサイクル用途

油水分離

再生重油

焼却

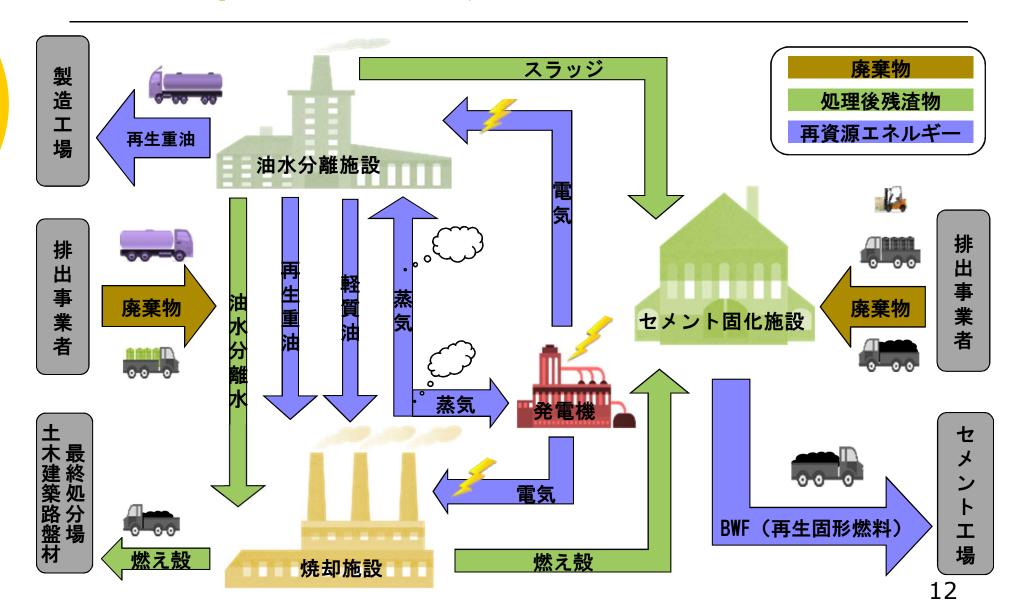
路盤材

セメント固化

再生固形燃料 BWF









# 《事例1》 含油水·含油汚泥/工事解体現場









# ≪事例2≫ 廃塗料/工事案件



地中から中身が不明なドラム缶を発掘。 分析の結果、処理可能と判断され、 固形燃料へとリサイクルされた。



ドラム缶の中身が 漏れているものもあった。



# 《事例3≫ 排水処理汚泥/製造業原水ピット清掃





重機にて掘削回収、水密車輌で運搬。 搬入後は固形燃料へとリサイクル。

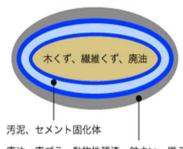






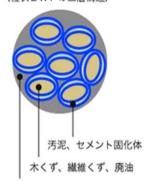


〈単体BWFの三層構造〉



廃油、廃プラ、動物性残渣、鉱さい、燃え殻

〈粒状BWFの三層構造〉



廃油、廃プラ、動物性残渣、鉱さい、燃え殻





#### BWF/再生固形燃料

(Biomass Waste Fuel)

BWFとは、バイオマス廃棄物燃料を示し、従来、焼却処 理されるしかなかった廃インキや廃塗料など、 リサイクル が困難とされていた油性廃棄物を中心として各素材をブレ ンドした当社独自の再生固形燃料。

自社において素材の発熱量、塩素含有量を測定し、他のブ レンド素材との反応試験を行い、 全てに合格した素材のみ を用い、成分の配合をコントロールすることにより、条件 に合わせた燃料を提供することが可能。

<製造能力>

製造量: 15,000m<sup>3</sup>/月

**くスペック>** 

塩素分:2,000ppm以下

総熱量:3,000cal~8,000cal



## 10. まとめ

# "MOTTAINAI"